

【議事録】

審議会等名	令和3年度 第1回つくばみらい市市民協働推進委員会
●日 時	令和3年11月9日(火) 午前10時00分～正午
●場 所	つくばみらい市役所伊奈庁舎3階 会議室
●出席委員	石塚裕子委員、石村章子委員、大橋信久委員(10:10～)、小菅新一委員、小菅均委員、関慶広委員、藤林寿委員、古舘千恵子委員、菩提寺宗子委員、松本譲二委員
●欠席委員	なし
●事務局	市長公室 地域推進課 中村課長、関課長補佐、長塚主査、小林主事、前田主事
●傍聴人	なし
●次第	<ol style="list-style-type: none">1 開会2 委嘱状交付3 市長あいさつ4 委員紹介5 委員長及び副委員長の選任6 委員長あいさつ7 議事<ol style="list-style-type: none">(1) 市民協働推進委員会の概要について(2) 協働に関するこれまでの市の取り組みについて(3) 「つくばみらい市市民協働実施計画(案)」について(4) その他8 閉会
	<ol style="list-style-type: none">1 開会2 委嘱状交付3 市長あいさつ4 委員紹介5 委員長及び副委員長の選任 互選の結果、委員長に古舘委員、副委員長に小菅均委員が選任された。6 委員長あいさつ(古舘委員長)7 議事<ul style="list-style-type: none">・委員長が議長となり以下の議事進行を行った。<ol style="list-style-type: none">(1) 市民協働推進委員会の概要について<ul style="list-style-type: none">・事務局より説明を行った。 <p>【質疑・意見等】</p> <p>なし</p>

(2) 協働に関するこれまでの市の取り組みについて

・事務局より説明を行った。

【質疑・意見等】

委員：職員研修を3年間行ってきたとのことですが、3年間新しい職員を対象に行ったのでしょうか。また、繰り返し同じ職員に研修を行ったのであれば、今後の自分たちのヒントにもなりえるので、受講者がなんらかの形で学びがあったのか、なかったのかなどをお聞きしたいです。

事務局：研修は、初年度は係長級以上の職員、2年目は一般職、3年目は未受講職員と、各年度で対象者が別々になるよう実施いたしました。また、受講者のアンケート結果より、市民協働への意識がまだまだ低いということが伺えます。ある程度考えが固定されている職員よりも、早めの意識付けを行うため、来年度は新規採用職員に対しての研修も検討しております。

委員：市民協働に関する意識は、管理職に意識づけることが重要であると考えます。市民協働は、対市民に関係してくることであるため、管理職の考えが固定されているのであれば、何らかの方法で変えていただくようにしていただきたいです。

事務局：管理職を含めた職員を対象とした研修は令和元年度に実施しており、その当時、研修を受講した管理職の職員が変わっていることから、来年度は、研修なのか、それ以外の方法にするかはまだ検討中ですが、何らかの形で意識啓発をすることは検討しております。

委員：いきいき市民塾について、当時の周知方法と、周知により何人から応募があったのかを教えてください。また、実際の応募以外の問い合わせは何名ほどからあったのでしょうか。

事務局：周知方法は大きく分けて3つの方法で実施いたしました。1つ目は、広報紙への記事掲載、2つ目は、ホームページとフェイスブックへの記事掲載、3つ目は、公共施設のほか、市内スーパーマーケット、郵便局等の45ヶ所にチラシを設置していただきました。また、問い合わせは、受け入れの人数と同じ10名程度でございました。実施後のアンケートでも、もう少し広報に力を入れてほしいというご意見もあったことから、次回以降の実施の際は、広く周知できるような方法等を検討してまいります。

委員：実際に活動している方と活動していない方の距離というものがあると思うので、その距離を縮めるような工夫ができれば良いと思います。

また、市民活動まちづくりセンターでコーディネート業務を行っているとのことですが、委託を受けた専門の方なのか、市の職員なのかなど、どのような職員が勤務しているかを教えてください。

事務局：現在、市民活動まちづくりセンターには4名の職員が勤務しており、全員が地域推進課の職員でございます。コーディネートに関する資格を持っている職員もおりますし、そのほかにも日本NPOセンター等が実施している研修にも参加するなどして、知識を得ながら業務を行っております。

委員：今後、「この人に相談をすれば解決できる」といった方ができれば、より良いと感じます。

(3) 「つくばみらい市市民協働実施計画（案）」について

- ・事務局より説明を行った。

【質疑・意見等】

なし

(4) その他

- ・第2回つくばみらい市市民協働推進委員会の開催について、次のように決定した。
令和4年1月27日（木）午前10時から

委員： 本日の委員会で、委員の皆様がそれぞれの地域で一生懸命ご尽力されていることがわかりました。本日初めてお会いした方もたくさんおられますけれども、その中で早速一緒に何かをできるものもあると思います。第2回目の委員会までに何か繋がりを持つというのもいいのではないかと考えています。

委員長： 委員からこのような提案もございましたので、このメンバーの中で連絡を取り合うなど出来る方がいらっしゃいましたら、そうしていただければありがたいと思います。

委員： 私たち委員の役割は何をすることなのでしょうか。

事務局： 大きなところでは、市民協働実施計画が策定された後、委員会にて、計画に基づき実施した事業等についてご報告をさせていただきます。

その報告内容に対して、市民活動をされている皆様の目線から、もう少しこの項目は、こうしたほうがより良い取り組みになるのではないかなど、ご助言やご意見などを含めた評価等をいただきたいと考えております。

委員： 市民協働実施計画の計画期間は、令和4年度から6年度になっていますが、委員会からの意見の反映は令和5年度になるのでしょうか。また、この市民協働実施計画は、令和4年3月に策定されますが、令和4年度の実施予定事業等について、委員会にある程度の報告ができるのではないかと思いますのですがどうでしょうか。令和4年度の事業が実施される前に変更などが出来るのではないかと考えております。次回の委員会ではそういったことも協議できるようなものであってほしいと思います。

事務局： 令和4年度中の報告に関しては、数値ではなく、現状の取り組み内容の報告をさせていただきたいと考えています。その中で、ご意見をいただき、修正等が可能な部分に関してはご意見を参考にしていきたいと考えております。

委員： 市民が少し行政に頼りすぎなのかなと考えています。行政には相談などの窓口を行っていただき、活動は、例えば小中学生や子育て世代、定年退職者が自主的、自発的に行う。市民が自分たちで動かないと、元気のある活性化された街になっていかないという思いがあります。

事務局： 市民の皆さんの中には、「こういう活動があるんだ」「今は忙しくてできないけれども、定年退職したら何かやってみようかな」といったような、何か地域の役に立ちたいと思っている方はいらっしゃると思います。そういった方が市民活動まちづくりセンターに来てもらうことで、「こういう活動団体があるんだ」「この団体がこんなイベントを行っているんだ、それなら行ってみようかな」というように興味を持っていただくことで、活動を行いたい人同士のコミュニケーションが生まれます。また、市民活動まちづくりセンターで意気

投合した2人が「こういう活動をやりたい」と職員に相談して、団体を紹介するといった行政のバックアップもごございます。行政が前面に出る場合もごございますが、市民の皆さんが活動を行いたくなるようなPRなどをする事で、市民協働へつなげていきたいと思えます。

委員長： 市民活動まちづくりセンターでは、ボランティアに参加しませんかといったようなことを掲載しているスペースがあります。これは今後のボランティアの新たな担い手を募ることもつながっていると思えます。市民活動まちづくりセンターに、皆さんの団体の活動チラシ等を持ち込んでいただき、各団体の活動内容等を掲示したりすることで周知を進めていけば、市民協働が進んでいくのではないかと思えます。

委員： 社会福祉協議会の職員の方はボランティア団体や活動に対して詳しいと思うのですが、センターに職員を配置してもらうなど、社会福祉協議会との連携は行わないのでしょうか。

事務局： 社会福祉協議会とは、適宜、様々な情報の共有を行わせていただいております。また、市民活動まちづくりセンターをこども食堂の会場としていただくなど、施設としても活用していただいております。

委員： 市内には様々な活動をしている方々がいらっしゃいますが、団体同士の繋がりが無い事がもどかしいと感じていました。せつかくこのような委員会が立ち上がり、自己紹介の中でそれぞれの方の活動の内容をお伺いすることができたので、まずはこのメンバーで、市民活動まちづくりセンターを活用して繋がりを作っていただければと思えます。

4 閉会（正午）

●配布資料

- ・令和3年度第1回 つくばみらい市市民協働推進委員会 会議次第
- ・市民協働推進委員会委員名簿
- ・令和3年度第1回 つくばみらい市市民協働推進委員会 会議資料